

白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会委嘱状交付
第1回在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議報告書

1. 開催日時 平成29年6月1日(木) 午後2時から4時まで
2. 開催場所 保健福祉センター2階 研修室1
3. 出席者 森谷委員、布施委員、近藤委員、鈴木委員、平野委員、根本委員
石田委員、福田委員、澤口委員、中澤委員、黒澤委員
欠席者 福岡委員
事務局 五十嵐健康福祉部長、高齢者福祉課 緑川課長、伊藤主幹、鈴木主査
口 加藤主任保健師、安岡社会福祉士
4. 傍聴者 2名
5. 次第
 - ・委嘱状交付式
委嘱状の交付
市長あいさつ
 - ・第1回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議
委員自己紹介
議題
 - (1) 会長の選出について
 - (2) 白井市の高齢化の状況について
 - (3) 在宅医療・介護連携推進事業について
 - (4) 認知症初期集中支援推進事業について
 - (5) 在宅医療に関するアンケート調査の結果について
 - (6) その他
6. 議事 以下の概要のとおり

事務局

- 委嘱状交付
 - ・伊澤市長より、各委員に委嘱状を交付
 - ・市長あいさつ 市長よりあいさつがなされる。
- 第1回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議
委員の自己紹介
(伊澤市長退席)
事務局職員の自己紹介

それでは、議題に移る。

本日の出席委員は、11名。本協議会設置要綱第6条第2項の規定により、過半数に達しているので、議事を進める。

議題の前に、会議の公開等について報告する。

会議の公開については、市の会議の公開に関する指針に基づき、この協議会も、原則公開の対象となる。ただし、非公開情報に該当するような場合には、非公開

の決定手続として、過半数の議決を取り非公開とすることができる。

また、傍聴者の受け入れは、会議室の大きさにもよるが、先着5名を基本とする。会議録の作成で録音をし、会議録は要点筆記とさせていただく。会議録の公開は、発言者名は伏せる形の公開とさせていただく。

次に、本協議会の概要について、お手元の設置要綱に基づき設置したもので、委員は、名簿のとおり12名で構成となり、この後、会長の選出をお願いしたい。

所掌事務は、国の実施要綱に基づくもので、大きく分け、医療と介護の連携関係と、認知症対策関係の2つの事項を協議していただく。

市町村によっては、この2つの事項に対して、それぞれ別の協議会を設置しているところもあるが、大変関連する事項のため、本市においては、本協議会により会議をお願いする。

委員の任期は、3年間で、行政機関職員以外の委員には、1回の会議について5,000円の謝礼をお支払いさせていただく。

守秘義務については、この会議により知り得た個人情報など守秘義務のほど、お願いする。

以上、報告させていただくが、何か質問は。
(特になし。傍聴者入室)

事務局

議題1 会長の選出について協議をお願いする。

なお、仮議長を高齢者福祉課長が務めさせていただく。

仮議長

会長については、要綱第5条により委員の互選により選出することとなっているが、推薦や意見があればお願いしたい。

委員

初めての顔合わせであることから、事務局に一任したいと思う。

(異議なし)

仮議長

事務局に何か案はあるか。

部長

森谷委員にお願いできればと考えている。

仮議長

ただいま、森谷委員にお願いしたいとの事務局案があつたが、如何か。

(賛成の意見あり)

会長

異議なしの声があつたので、会長を森谷委員にお願いする。

会長より、あいさつがなされる。

本日の会議は説明が中心であるが、それぞれの立場から現状とか困りごとなど意見を伺いたいと思うのでよろしくお願いする。

議題2 白井市の高齢化の状況についてを議題とする。事務局より説明を求める。

事務局

(事務局より説明 資料目次2)

会長

事務局より議題2について説明があつたが、何か質問があるか。

(質問なし)

次に、議題3 在宅医療・介護連携推進事業についてを議題とする。事務局より説明を求める。

事務局

(事務局より説明 資料目次3)

会 長	<p>資料16ページのとおりワーキンググループの設置を提案したいので、意見をいただきたい。承認いただければ、市内の医療、介護関係者に対して募集を行う。</p> <p>議題3について、何か質問はあるか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>ワーキンググループの件は、後ほど協議する。</p>
事務局 会 長	<p>議題4 認知症初期集中支援推進事業についてを議題とする。事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局説明 資料目次4)</p> <p>事務局より議題4について説明があったが、何か質問はあるか。</p> <p>(質問なし)</p>
事務局 会 長	<p>議題5 在宅医療に関するアンケート調査の結果についてを議題とする。事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局説明 資料目次5)</p> <p>事務局より議題5について説明がありました。</p> <p>何か質問はございますか。</p> <p>(質問なし)</p>
委 員	<p>それでは、先ほど提案のあったワーキンググループの件について協議する。</p> <p>既に認知症対策部会は組織化されているので、救急時情報連携部会について協議を行う。</p> <p>先ほどの説明では、救急時に患者の基本情報などを聞き取るのに時間がかかって、搬送に時間がかかっていると説明があったが、実情をお聞きしたい。</p> <p>高齢者の救急搬送が増えている。その時に家族がいないと病歴など情報を把握するのに時間を費やし、搬送時間がかかっているのが現状である。この点、医療や介護などの関係者の連携の問題、どうしたら迅速に対応できるかが課題となっている。先ほど説明であった八王子市の情報シートのようなものを活用できればと思っている。既に印西市では行っており、白井市でも試行的に行うことであるので、これらを広め救急の迅速化につなげたい。</p>
会 長	<p>このシートは、医師が作成しているのか、地域包括支援センターが作成しているのか。</p>
事務局	<p>家族がいれば家族であるが、認知症が進んだりし作成が困難な場合は、ケアマネなど支援者が書き、シートや保険証の写しを筒状のプラスチック容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくもの。そして、冷蔵庫のドアと玄関にシートがある旨を表示する。</p>
会 長	<p>他に質問はあるか。</p> <p>(なし。)</p> <p>医療介護連携という観点で、医者立場から言うと急変時の対応というものがものすごく大事となる。急変時、絶えずその場にいるというのは医者にとって大変負担となる。ある病院と連携しているのは、患者の体調悪化が予想されるような場合、事前に紹介状を作っておいてファックスしておく、それにより患者に何かあったときは病院での受け入れがスムーズに行われ、患者への対応がなされ</p>

る。

我々と患者と病院とが連携しておいて、その紹介状を見ることが組み合わさって救急隊につながられる。医者にとって負担の軽減にもつながる。

会 長

ワーキンググループの設置は、(案) のとおりでよろしいか。

(異議なし)

事務局

ワーキンググループの進捗状況は、毎回報告する。

会 長

他に何か質問はあるか。

(なし)

(委員から感想をいただく)

会 長

最後に事務局から何かあるか。

事務局

次回は、9月21日に開催する。年間の日程によりお願いしたい。

会 長

以上で、本日の会議を終了する。